



# 名古屋いのちの電話

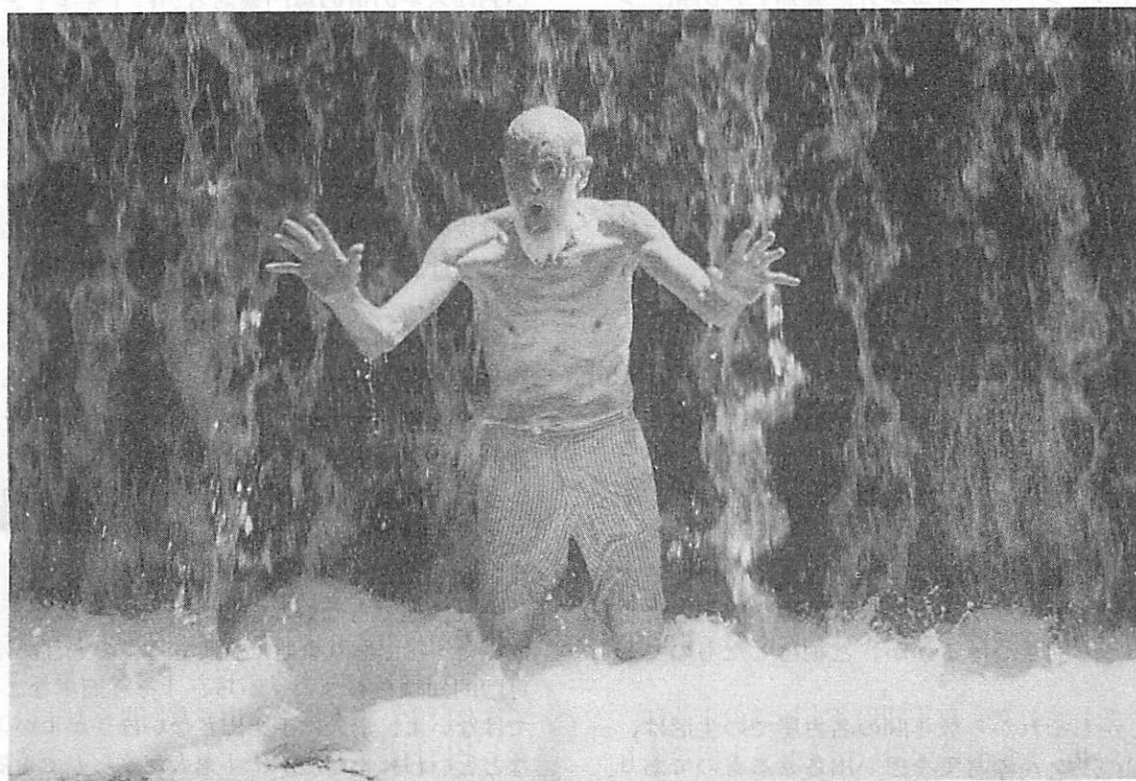


写真 文珠 幹夫

## 人生

ひろはま かずとし

人間はみな「人生」という

ひとつの芸術を完成させるために、

生かされているのではないのでしょうか。

芸術というからには「存在価値」がある、

という事が絶対条件だと思っんです。

一個の人間として、確かな文化とか

哲学があるかという事。

つまり、見るに値するか、

聞くに値するか、

ふれるに値するかという事です。

さらに言えば、よりあなたらしく

おもいつきり輝いて生きてますか、

という簡単な事なんです。

ひろはまかずとし墨彩詩画集

「あたりまえの愛」より



## 友となる

清島恒徳

「名古屋いのちの電話」の設立にかかわった者の一人として、何故それに参加したのか、という当時の思いを述べてみたいと思います。

作家リルケは『マルテの手記』の冒頭で、「人々は生きるためにこの都会へあつまって来るらしい。しかし、僕はむしろ、ここではみんなが死んでゆくとしか思えないのだ」と、二十世紀初頭の国際都市パリの人々の生活の中にひそむ「虚無と死」について書いています。それでは二十世紀末期の名古屋という都会においてはどうかでしょうか。

16年前、東北の小さな街から名古屋に転任してきて、久しぶりに味わったのは、都市の「自由な空気」でした。まさに中世ヨーロッパのことわざ「都市の空気は人間を自由にする」、そのものでした。

地方にあって過疎の問題と取りくんでいる友人の顔を思い浮かべつつも、この空気が若者を都市へと引きつけるのか、と納得したものでした。

しかしそれから数年間の名古屋での生活は、先程のリルケの言葉を思い出させるものでありました。「孤独は山になく、街にある。一人の人間にあるのではなく、大勢の人間の『間』にあるものである」(三木清「人生論ノート」)。

そう考えるようになっていた頃、知人であった東京いのちの電話総主事の斉藤友紀雄さんから、「用事で名古屋に行くから、久しぶりに会いましょう」との連絡があり、御馳走してくれるのもよいけれど、むしろ「いのちの電話」について教えてくださいと、友人数人をさそってお会いしました。いのちの電話という活動の主旨と実際にうかがいました。これが名古屋にいのちの電話が発足する一番最初の小さな一歩でありました。

話をうかがう中で私が一番心に残った言葉は、いのちの電話は「素人」がおこなうものである、

という点でありました。他の電話相談の多くが、いわゆるその道の専門家あるいは「先生」とよばれる人々が登場して解答を与えるという形式をとるのに対して、「いのちの電話」は素人がおこなう(勿論、必要な研修をつむことはいくらでもないことですが)同じ立場に立って、相談者の話を聞く、そのことを通して相談者自身が解決の道を自分で見出す、そのために必要なことは、徹底して辛抱よく話を聞いてくれる存在だ……。

都市の孤独の中におかれた人々にとって、今一番必要とされているのは、こういう友人の存在だ、と思いました。その後、この友人となる運動、つまり名古屋いのちの電話の設立へとむかうこととなりますが、私はこの基本を大切に、市民運動としておこなっていかうという思いを強くもっていました。

それは他でもない私自身が、それを必要としていたからでありました。設立準備の過程では、専門的知識をもつ人々から、「そう簡単なことではないよ、素人は手を出さないほうがよいよ」などといわれましたが、「素人だから」できる、「先生」は友人にはなれない、などと反論したものでした。確かに専門家の知識と経験が必要とされる場合もあります。しかし基本は「友となる」ことではないでしょうか。

いのちの電話の活動は、「所詮は他人ごと」であるものを、どれだけ「されど我がこと」となすことができるかという点にかかっているのではないのでしょうか。「他人ごと」を「我がこと」とすること、それは秀れて「人間的」な事柄です。小さな小さな心配や悩みが人間をゆがめてしまうものです。

リルケは左手の指にささったバラのトゲがもとで51才の生涯を終えたということです。

(日本基督教団 名古屋堀川伝道所牧師)

相談員の人と話していると守秘義務と匿名性の話題がよく出る。守秘義務のため、電話相談の後ですっきりしない気持ちが残った時、近くにいる人に聞いてもらえばそれで済んでしまう事でさえうまく解放できない。匿名性のため、軽い気持ちで「電話の相談員をやっているのよ」と人に言えない。電話相談の内容や電話相談に携わっていることも気軽に誰彼に話せないのも、こういった日常的に感じる言わばストレスを相談員は簡単に解消していく術を持ち合わせていない。独りで抱えられない相談を受ければ、肩の荷を下ろしたくて誰かに聞いてもらいたい時がある。悩んでいる

人の援助をしているとちょっと鼻にかけたくなる時だってある。ボランティア活動を自分の業績の中に入れたい人もいる。こういった事は守秘義務と匿名性の問題に抵触するため口を閉ざしている以外手はない。ストレスを抱え込む割に、自己愛が満たされないというのが相談員の本音であろう。特に匿名性は、電話相談を特長づける非常に大切な柱だとわかっていても、相談員を様々な制約から自由にしてくれる防波堤と思っていても、人の秘密を聞いてしまうので、ある程度の制約はつきものであると考えても、毎日の相談活動の中では、どうする事も出来ない厄介な荷物に違いない。

こういった負の側面ばかりに目がいく。が、守秘義務と匿名性がある御陰で、電話相談は現実には働きかける訳ではなく、イメージにしか働きかけられないという限界を示してくれる事も忘れてはいけない。例えば、いつものように電話で利用者のお話を傾けると、知っている相談員の名前が出てきて、こともあろうに相談内容を人に話しているという。いったいその事を知ってしまった相談員はどのように振舞ったらいいのだろうか。相談員の名前という現実が目の前に表れてくると、利用者と相談員の二人の関係の中だけで取り扱うには荷が重過ぎて、そのことを二人の関係の

外へと持ち出してしまいう可能性が高い。

この様に動いてしまう一番大きな要因は、そもそも利用者にかけてきた電話を、気づかないまま現実という次元で取り扱っている事である。電話相談の原点は徹底した受容であるはずなのに、解決を図ろうとした事でもある。人に話しているのか、話していないのかという事実を追求し始めると現実の方へと傾いていく。電話相談はイメージにしか働きかけられないという前提

があれば、利用者の気持ちを聴く方へと心が動いていく。なぜ利用者がそういった内容の電話をかけてきたのかを聴き、利用者の気持ちを話させる方向で援助していくのが先決で、電話相談の場でそういう事実が在ったかどうかには思いを巡らせるのは電話相談の枠を超えてしまう。このような視点に立てば、相談員が名前を明かしている云々という現実ほとんど問題にしなくても良くなる。丁寧に利用者の言葉に耳を傾け、そのことを話した背後にある感情を聴く様に心がけていると、例えば、利用者の相談員に対する嫉妬の問題が出てくるかもしれない、あるいは、もっと話したい内容があつて、そのきっかけに相談員の名前を使っただけであるかもしれない。

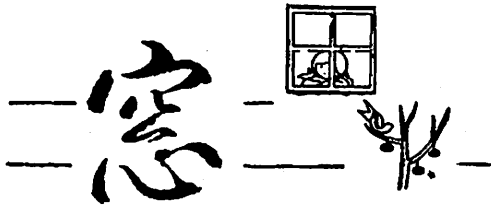
このように考えてくると、守秘義務と匿名性は金科玉条のごとく守らなければならない事でも、我々の行動を制限する厄介な廃物でもなく、実は、電話相談の原点に連れていってくれる二つの道標になっている事がわかる。夫婦の葛藤にしても、いじめの問題にしても、ついその電話を現実にあつた事として、何とかしなければと思ってしまう。が、守秘義務と匿名性を忠実に守ろうとすれば、利用者の言葉そのものに集中するであろうし、今ここでの体験以上に発展させようとは思わないであろう。

(訓練委員・中部労災病院心理士)

## 現実とイメージ

長瀬治之





## 愛知電話相談ネットワーク

近頃の電話相談窓口の増加は、目覚ましいものがあります。新聞でみる限りにおいても、病氣別に受付けている個人がいたり、〇〇週間の間だけという単発のものなど、数えきれません。

私どものいのちの電話も、サマリタン精神を基盤に、危機介入を目的として30有余年の歴史があり、名古屋いのちの電話も10年を過ぎ、市民活動として定着したように思えます。今年は全国のいのちの電話関係者が集う大会を名古屋で催すところまで成長したといえるでしょうか。

そんな名古屋いのちの電話が、愛知県下の電話相談をもつ機関へ呼びかけて、研究会を開いているのが“愛知電話相談ネットワーク”です。

開局5年目に、日本自殺予防学会が主催する全国大会シンポジウムを名古屋で開催いたしました。東海・北陸を中心に、全国から電話相談機関が集まって、危機介入をテーマに話し合いました。その後にも、横浜いのちの電話が事務局であった全国電話相談研究会の全国大会とワークショップの会場も引き受けるということがあり、近在のそれら機関の人たちで、もっと度々集いをもって話しあいたいという思いを強くしておりました。

名古屋いのちの電話の訓練委員でもある長岡先生は、自殺予防学会の理事、全国電話相談の常任運営委員でもいらっしゃいます。県下では、こちらの電話の設立以来の中心的指導者でもいらっしゃいましたので、県下の機関の担当の方々へ呼びかけて研究会をもつ運びとなりました。

主なメンバーは、ヤングテレホン（愛知県警）、心の健康相談電話（県総合保健センター精神保健

センター部）、思春期相談（県医師会）、婦人悩みごと相談（県婦人相談所）、子ども家庭110番（県中央児童相談所）といった公的機関の担当の方をはじめ、医師会関係の難病相談の担当者、市町村の青少年相談所・センター等の相談員の他に、私たちと同じようなボランティアで関わっている県のこころの電話や、老いと病のための心の相談、そしてまた、岐阜から毎回出席下さる方もあって、奇数月に一度、県教育会館の会議室や、みこころセンターのホールをお借りして会合をし、“ねっとわーく”という機関紙も、11月には25号が出ます。

電話相談というのは、相談とは言っても利用者の問いかけに対して即答するのではなく、しかし、面接のカウンセリングとも大きく異なることがあります。

つまり、電話には即時性があります。何時でも何処からでも、何処へでもかけることが出来ます。そして、顔が見えません。名乗らなければ、何処の誰とも分からない匿名性であります。だから、面と向かってなかなか話せないことも、相手も知らない人（相談員も名乗らない）ですから思い切って話すことができるのです。ここで話したことはどこにも洩らしませんよ、と相談員は秘密を守ることを約束します。利用者は話している内に、気持ち軽くなったり、また自分の中の何かが動いて、自分で気付いていくこともあります。相談員が何かのヒントを出すこともあるでしょうし、必要な社会資源を伝えて、それを利用することも出来るでしょう。そこへ行きつくまで、相談員は見えない相手と声だけを頼りに、相手の言いたい気持ちを受容していかねばなりません。このためには、相談員自身が何故そうしなければならないのか、どうすれば出来るのかということをしっかと学習し、実習を積む必要があります。

ネットワークのねらいの一つには、それぞれの相談電話の特性によってかかってくる電話の質や

# ロくん & オくん

量の情報交換をすると共に、電話相談全体のレベルアップにあります。

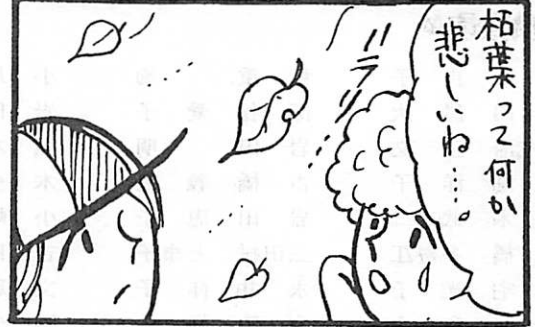
アポイントを取らねばならない、費用も安からぬ……という面接相談よりは、それ程の内容ではないからと思う（思いたい？）利用者、これは日本人の性格ともいえるように思いますが、そんなニーズに応える、社会的な責任としても、相談員は安直な人の悩みの聞きたがり屋では困るのです。

相談の内容は、何処にでも見られるような、家庭内の揉め事や地域での問題のほか、電話ならではのケースに性的なものも多くありますし、また継続してかけてくる人、怒りをぶつける人、いやがらせ、電話ショッピングの人もこうしたネットワークの交流の場で、分かってきます。むつかしいと悩みを訴えると、専門の先生が理論的に説明をして下さって壁が少し薄く低くなったり、私には随分勉強になっています。

電話相談機関の調査をした後、続けて相談員の個人的アンケートをし、相談員の悩みがそれぞれでありながら、また似ていることにも仲間意識を感じたものです。

昨年から、クリニック関係の方の参加もあり、また“児童虐待防止ネットワークあいち”という市民運動の電話相談も仲間です。

ところが、今、電話相談は一つの岐路に立っています。電話は市民生活に定着し、様々なニーズに適応する機能をもち始めました。携帯電話、留守電、FAX等。いたずら電話も増え、その対策ばかりではないでしょうが、“発進電話番号表示サービス”が、横浜、福岡と共に名古屋（052局番）で試験運用され、来春1月から始まります。いずれ全国的に採用されることになるでしょう。いのちの電話をはじめ、匿名性を標榜している電話相談機関にとっては、これからどうすべきか、緊急な課題として、ネットワークでも取り組んでいくことになるでしょう。（F・H）



## ご援助ありがとうございます

1996年5月1日より9月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共にご報告申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

理事長 相馬 信夫

財務委員会

### 賛助会員A

田 中 良 子	秋 重 殉	小 川 邦 泰	金 澤 強	太 田 喜久雄
菱 田 昌 次	深 谷 愛 子	岩 田 亮 二	柳 原 佳 枝	木 島 正 司
伊左治 正文	岩 田 明	高 木 康 秀	榎 本 久美江	早 川 鈞
田 畑 洋 子	古 橋 義 之	木 全 昭 二	高 本 紀 子	長 井 潤
鈴 木 武 二	岩 田 恵 子	小 嶋 洋 一	伊 藤 美江子	木 村 晴 子
高 橋 多寿江	三田村 とま子	吉 田 弘 明	伊 部 宏	水 野 由 吉
三 宅 光 子	永 井 洋 子	文 珠 紀久野	福 井 隆 二	横 地 欣 也
梶 浦 和 由	吉 田 好 枝	国 分 孝 雄	宮木邦蔵・靖子	兒 島 竜 雄
山 田 満 弥	森 宣 子	牧 岡 恒 夫	堤 肇	鎌 田 蓉 子
向 田 正 俊	寺 西 一 雄			

### 賛助会員B

鈴 木 美 子	岡 部 美代子	太 田 敦 子	森 志づを	坂 本 康 信
水 野 久	川 本 昭 二	松 井 く ら	松 岡 朱 美	大 塚 弥 生
山 本 秀 樹	村 松 正 義	伊 藤 恵美子	飯 塚 三千子	関 屋 牧 子
竹 原 とよ子	神 田 輝 夫	服 部 富 美	森 部 暁 子	田 中 節 子
佐 竹 一 予	近 藤 直 枝	田 沼 育	金 森 タ イ	平 尾 泉
今 井 志げ子	亀 山 秀 雄	加 藤 倫 子	鈴 木 修 子	青 山 玄
大 隅 甲 吾	加 藤 満	松 隈 愛 子	太 田 博 己	河 野 登喜子
勝 沼 功	小 室 美奈子	鈴 木 富 子	水 谷 秀 器	岩 田 久 夫
小 谷 充 子	柴 田 恵美子	近 藤 亮 三	末 田 香 里	村 瀬 政 子
加 藤 幸 雄	子 安 崇 雄	大和田 康 司	高 須 速 夫	津 田 止才次
桜 井 房 博	鎌 手 敬 一	飯 田 和 也	高 本 雅	小笠原 覚

## 点滴

時、読書たけなわの秋。因んで私のごく個人的な読書にまつわるお話の披露をさせていただきます。今年初頭、私は予期せぬ思わぬ病いを得、入院に次ぐ数ヶ月の療養を余儀なくされた。暫らく続いた私の母への出張看護も消え職場も退くとやっと私、切望の「時間」が、今度は向うからたつぷりとやってきた。

さて日頃は新聞大好きな私、だが小説、エッセイシリーズものなど毎日少しずつしか読めぬ連続ものは私の性に合わず、そのほとんどは読まずに避ける。ところが二昨年ふたとしの秋、私の関心度最強の歴史作品、「クレオパトラ」と題する初回がA新聞日曜版に載ったのだ。なんとその紙面たるや一面十段抜き、普通の新聞小説五倍のスペースである。優雅で個性的な挿絵も超大で感興を増す。以来日曜ごと私は中味を読む事なくせつせと切り抜きを始めた。そして丁寧に重ねて棚上かみに仕舞う。長くて一、二年の連載だろう。さて二年が過ぎても最終回には至らない。中味をそんな理由で心得ない。大団円の予測もつかず毎号の挿絵やエジプトのゴマ写真まに魅かれて取り続けるうちの入院さわぎ。物好きな！と苦笑の娘に切り取りの引継ぎを懇願し遂にごとし三月その“完”を見た。124回47万字に及ぶ作者宮尾登美子の労作だ。

さて退院後、私の落書き先は我が家のベッド。さあ！これでまとも読みができる!!監視の目を避けて毎晩その10回分をベッドに持ち込んで体力、視力の疲れを託ちつつ貧り読んだ。そして積ん読中の次なる長編「ローマ人の物語」の緒にやっと辿りつくことができた。作者宮尾の資料、取材の精緻さ、女性でしか描き得ない細やかさで、世界から永遠に注目を集める女王の生涯が描かれたことに深謝。(A.U)

宇佐見 夏子	山田 久子	石田 義人	小川 長	浅井 きみ子
加古 りら	坂東 信吾	阿知葉 達仁	神戸 一子	池田 康修
三輪 淑子	初井 敦子	高本 香代子	神野 啓子	四日 薫
杉山 志乃	村松 睦子			

日本福音ルーテル希望教会      日本福音ルーテル復活教会婦人会

### 賛助会員C

山下 マサメ	中井 文子	河田 いさを	田中 あさ子	鈴木 キヨ
松永 靖子	杵山 達雄	服部 勝美	中山 節子	平野 隆市
塚本 久	加藤 武	長倉 久子	林 郁子	西田 スエ子
林 温江	加藤 みゆき	阿知葉 好彦	神尾 初子	斉藤 喜世子
外村 新一	飯塚 重五郎	真木 芳子	来間 のぞみ	早川 律子
榎尾 一子	神谷 將弘	太田 重一	宇治谷 義雄	植木 貞次郎
水谷 敦	山崎 京子	山野 トシミ	木全 磨沙美	山田 すゑ
森下 眸代	中谷 塩子	深山 かの子	伊藤 宗太郎	足立 克己・千江
藤谷 道節	小川 祐美子	深家 祐子	佐野 百合子	浅野 記代子
大島 節子	水野 壽子	鈴木 浩之	岩佐 敏志	北野 庸子
古谷 昭	小中 健次	石田 喜代子	小島 初江子	荻原 周子
望月 武雄	梅沢 晴美	ヘルガ・タイス	高橋 郁子	森 咲

### 寄付金

橋本 良男	野村 紘子	小島 丈夫	鶴田 和子	石嶋 和代
林 たか枝	佐竹 一子	見木 丈靖	高橋 多寿江	市川 真康
小知 和優	中谷 聖子	長野 信一	内川 正邦	市田 江美
菅沼 恒子	生田 純子	後藤 忠一	鈴木 智美	足立 憲吾
坂東 信吾	山野 トシミ	白田 治子	水谷 宣セ	野口 博富
岩野 翠	中村 三郎	矢満 篤子	原 寿ツ	千生 川和子
片岡 ミチエ	吉田 聖	高橋 孝子	梶原 三郎	梶原 久江
上田 きよ	岩間 哲郎	森 昭子	中村 三郎	長沼 てる子
堤 隆	中辻 三千代	中川 鋪子	江口 勇夫	武保 輝彦
中野 廣子	野村 妙子	柳澤 幸輝	高野 孝児	辻卷 真代
林 純子	吉田 徳子	服部 英和	小横 井公子	山田 正良
風間 良子	加藤 みゆき	大矢 和	岩田 とみ恵	橋本 良男
山下 タカ子	加藤 迪春	金森 森		
安田 八重子	高田 邦彦			

名古屋花き卸売市場      日本福音ルーテル希望教会

### 法人賛助寄付

有限会社エイコー      矢作建設工業株式会社      ブルデンシャル生命保険株式会社      名東歯車株式会社  
 薬師寺柿本大真

### 基金

薬師寺柿本大真

### 全国研修会賛助寄付

株式会社三秀プレジジョン      名古屋市      ホーユー株式会社      ブラザー工業株式会社  
 株式会社エクシング

# 第17回いのちの電話全国研修会 名古屋大会

日程 1996年11月14日(木)~16日(土) 会場 名古屋国際会議場

## 特別講演 (一般公開)

- ・日時 11月14日(木) 14:30 ~16:00
- ・テーマ **新しい家族と家庭像を求めて**
- ・講師 日本福祉大学生涯学習センター長 **河合雅雄先生**  
(京都大学名誉教授・兵庫県立人と自然の博物館館長)

\*特別講演は研修会参加者のみでなく一般公開としていますので聴講ご希望の方を歓迎いたします。はがきにて下記にお申込下さい。

## 講師プロフィール

1924年生まれ。京都大学理学部動物学科卒業  
生態学、人類学、特に霊長類の生態、行動、社会の研究を行っている。サルからヒトへの進化の過程に強い関心を持ち、理論的研究を行うとともに、人間の本性とは何かを問い続ける。

申込先 社会福祉法人 愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話事務局  
〒461-91 名古屋東郵便局私書箱257 TEL:052-971-5181 FAX:052-961-5004

## 賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。

年間2,000万円の運営資金と共に、法人の基金を10年間で1億円積立の課題を与えられています。

会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力を添えて下さいますようお願いいたします。

法人となり寄付金の税法上優遇措置が受けられません。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員 (年間1口)  
A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です。
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
理事長 相馬信夫

口座番号 東海銀行大津町支店(普) 477029  
郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせは…

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
名古屋いのちの電話  
事務局 ☎ 971-5181

社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

## 開局10周年記念

## ギターコンサート

と き 1996年11月30日(土)  
午後 6:00(開場 5:30)  
ところ 日本キリスト教団 名古屋中央教会  
地下鉄栄5番出口前  
入場料 2,000円(全席自由)

主催 社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
後援 NHK厚生文化事業団  
中日新聞社会事業団  
東海テレビ 福祉文化事業団

## 愛知いのちの電話協会日誌より

- 5月 19日 フリーマーケットin東別院
- 28日 9期相談員 認定式 歓迎会
- 7月 6日 フォーラム ベルの会総会
- 25日 いのちの電話支援 吉田徳子さん  
オルガンコンサート 40万円寄付受領
- 8月 8日 谷田武彦市会議員来訪故安田八重子氏より100万円寄付受領
- 9月 3日 愛知県よりボランティア団体表彰を受賞

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

1996年晩秋

## 名古屋いのちの電話

〒461-91 名古屋東郵便局 私書箱第257

事務局 ☎ 052-971-5181

相談電話 ☎ 052-971-4343

郵便振替口座 00810-8-53758

東海銀行大津町支店(普)預金口座 477029

1996年11月1日発行

発行人 相馬 信夫

編集人 広報委員会